



桜井たかし

市議会レポート

発行日: 平成 25 年 4 月 16 日 発行: 桜井たかし事務所 <http://www.sakuraitakashi.com/>

平成 25 年 3 月議会での私の質問内容です

桜井の主張①領土に関する教育について(3回連続)

千葉市の学校は、竹島・尖閣諸島については全くといっていいほど教えていません。私が視察した島根県・石垣市・東京都・武蔵村山市では、竹島・尖閣諸島についてきっちり教えています。千葉市もそうすべきでは？

当局の回答: 学習指導要領に記載がないので、学習で扱わなければならないとは考えていない。なお、国民的関心が高いことから、今後、小学校での扱いについて検討する。

☆前向きな答弁です。領土教育は平和解決の前提なのです。

☆翌日、「領土・領海に関する正しい理解を次世代に伝える教育を求める意見書」を圧倒的賛成多数で可決しました。(賛成: 自・民・公・共・未来創造・みんな・維新、反対: 市民ネット)学習指導要領等に竹島・尖閣諸島を明記するよう求めた意見書は、おそらく全国初!です。これは本当に大きな進歩です。

ご協力いただいた関係各位に心から御礼申し上げます。

沖縄県尖閣諸島や島根県竹島など、日本固有の領土領海について正しい理解を次世代に伝える教育を求める議員提出の意見書も可決して閉会した。

産経新聞(3月15日)より

桜井の主張②教育制度改革について(8回連続)

私は一貫して地域と学校の連携を主張してきました。地域と学校が真に連携すれば、いじめや不登校を減少させ、学力を向上させる教育環境が作れるのです。私が視察を重ねた三鷹市のコミュニティ・スクール(小中一貫型)や、杉並区の和田中学校の学校支援地域本部等の導入を今回も訴えました。

当局の回答: 平成25年度中に学校支援地域本部をモデル的に導入する。

☆8回連続の私の質問で大きく進展しました! いよいよ千葉市でも新しい制度がスタートします。

私の取り組みが掲載されました



日本教育新聞(平成25年3月25日)より

桜井の主張③高齢者に対する交通安全指導について

免許返納制度により、お年寄りの交通手段は公共交通機関と徒歩、自転車に限られるようになってしまいました。こうした中で全国的にお年寄りの自転車による事故は増える一方です。警察と連携した抜本的な対策を提言しました。

当局の回答: 高齢者に対する交通安全教育が十分とはいえない。今後は、
高齢者の実情に応じた交通安全教育を検討する。

☆高齢者の免許返納のみに力を注ぎ、返納後の交通安全に意を用いていない施策には疑問を感じます！市と県警の連携強化と高齢者の交通安全教育・交通手段確保を訴えてまいります。

桜井の主張④生活困窮世帯の学習支援について

現在生活保護を受けている人の4人に1人は生活保護世帯で育っています。貧困の連鎖を食い止めるために、教育の機会を拡充する必要があります。生活困窮世帯も利用できる学習支援制度を導入すべきでは？

当局の回答: 現在、国で検討されている新法の動向を注視していく。

☆千葉市の持続的発展のためには、よき納税者をつくり、よき市民をつくることです。教育は未来への投資でもあります。生活困窮世帯だけでなく、あらゆる世帯が利用できる、お金のかからない学習支援制度を桜井は提言していきます。

芯のある教育

強い経済

市民目線



議会で取り上げたテーマ

- 幕張メッセの経営体質
- ベイエリア開発における二重行政の弊害
- 統合型リゾート(IR)
- 認可保育園のガイドラインの見直し…等多数

小さく縮んでいく社会ではなく、力強く成長する社会を作りましょう！

プロフィール

桜井たかし(桜井 崇)
平成5年早大卒。政策学校「一新塾」(大前研一設立)卒。サラリーマン生活を経て、幕張地区に学習塾を設立、約10年間教育に心血を注ぐ。
H.22年夏～駅に立ち「芯のある教育」と「力強い地域」の実現を訴える。
H.23年4月 花見川区で5118票を賜り、15人中第3位で初当選。
IR議連事務局長、教育未来委員会および広報委員会所属。

市政相談窓口(広聴活動)

皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。
私は常にフラットな立場で拝聴いたします。

〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷 2-7-4-102
Tel/Fax 043-441-5310 携帯 090-3527-9376
E-mail koenkai@sakuraitakashi.com
ホームページ <http://www.sakuraitakashi.com/>
ツイッター @sakuraitakashic